

活動報告 東 奔 西 走

浜松湖西小学校調査 1月16日

ブラジルやペルー等外国人労働者の増加に伴い外国人児童の占める割合が10% (現在124名) を越え、なお増加傾向にある。ALTの活用もし国際理解教育への活用をしている。外国人児童には、日本語能力・学習の習熟度・生活適応能力に合わせ、指導方法・指導体制を工夫し、取り出し指導の中で個別指導している。



順天堂看護学部・建設地調査 五輪会 1月25日

平成22年4月の開学を目指し、三島市大宮町に建設される。1学年の定員120名の4年生大学。県では深刻な看護師不足の解消のため、合計15億円の助成をし、地域医療の充実に努めていく。



墨田区教育委員会 『学校選択制度』の検証 2月16日

学校選択制導入の目的は、児童・生徒がそれぞれ個性や事情にあった学校を選ぶことにより、学力の向上や安定した学校生活を送れる環境をつくることにある。また学校自体も特色ある学校づくりに努め、魅力ある教育活動を実践する目的も持つ。導入後6年が経過しているが、傾向として近隣の学校への希望が多く、弊害としてはPTAや地域活動への参加が減少し、制度の是非について検討することとしている。

道の駅【枇杷倶楽部】調査 2月25日



全国845ある道の駅の中で、数少ない成功事例として平成12年『最優秀賞を受賞』している。『産業と文化、情報の拠点』を目指している。南房総市富浦の特産である枇杷加工事業と、商品開発体験型

観光農業による観光客誘客と施設整備に積極的に取り組み平成20年度は約6億7千万円の売り上げを誇っている。静岡県では、空港の開港に伴い、観光商品の開発を急いでいるが、東部地域・三島市の誘客戦略の一つとして参考にしていきたい。

三島市・山田川環境整備事業 3月21日



山田川流域は箱根西麓の裾野に位置し、箱根連山を水源とした山田川が流れ、山間地では珍しく棚田が作られ稲作も行われていた。

市街地から約3キロという近郊にありながら、里山の原形が保たれ、昆虫・野鳥・在来の植物の生息地でもある。この度三島市では『農林水産省・元気なまちづくり交付金』を活用し、里山景観の復元や各種農園・施設の整備を行い、市民に開放された。今後は多くの市民の協働により、豊富な湧水や竹林・梅林等を活かし、里山の風情が楽しめる癒しの空間となることが期待される。



第2回伊豆マラソン 10キロの部完走!

『富士に向かって走ろう』をキャッチフレーズに第2回伊豆マラソンが好天の中、盛大に開催された。今回は修善寺駅をスタートとする、ハーフマラソンの部も設けられ約1400名のランナーが霊峰富士の声援を受けながらゴール地点である三島大社めぐりを経て駆け抜けた。3市1町の協働による今回のイベントは、伊豆地域の一体性を創りだし、観光や地域産業の振興に大いに期待が集まっている。



2月22日 日大のダニエル選手と

三島と県政を繋ぐ **ホットライン 宮沢正美**

県政に対するご意見・ご要望をお寄せ下さい。

■ Eメール : kengi-miyazawa@ca.thn.ne.jp

■ ホームページ : <http://www.miyazawa-masami.com/>